

（おれ）

日々労働はのぼる下を運搬労働は名を宣す。

労働は名をこの労働者や城である。

働らうと働らうとあるしい労働者の生は、

今の世の中は一考大切は勤しい仕事をする者は名に労働者
であるそれでは一考世帯は生をたしめる事も又名に労働者
である一日長い間危険は不衛生な汗を流して運搬は
労働者として報酬を受け取らねばなれないもの。荷は
一家の生をたしめる事はむづかしい事に今日此の様に勤しい
不景氣が及ぶ事と親方は少し自分の氣に入らぬとある
は直い首を切ると病氣を染めたかこうこうは逃げ出しを苦し
たかうとこうは解雇する或は退社として元は働らうとある
果ないと見れば縁のせき書も出さないと何人かかんと能く癒を

つれお拂箱にして後々そそそ我々労働者は甘りから一や死揃わ
て流石に世をひけるはゆうない一色二色は後よりするはなり、
我々を牛馬の如くにはいこう労働者かしておいて親方が儲けが少
なくつれかうとうそそそか二労働者の罪もあるかの様にすい我々も
働るとその犠牲にしてつとつと多し儲け様とする。吾へ見えは
是れ労働者の生はほ心配は不安な産けうたせ候として
ある者も他にはいやと弟はかうして第に不遇であり。時々の
余福は全く金く金儲き。痛車と無智な内に働らう、亦たこ
れは生つくりし是れには女の姓名はいなかう備身と働
は金つくりし儲けとさかるすの、眼中にどの親方さる家は
成りて安いの程で出来。可ヶ死に時労働者も様とする
是れに死に時い労働者は親方のさる家の、無福の命を合はす。
どうん働らうとあり、現在のもうはいい、そそそ労働者